

2016年最後の求人はコレに決めた！

アドカスタム新聞

一週間の掲載期間延長が無料！

年末年始に向け様々な企業が求人募集を検討する時期となってきた。12月からの求人掲載を今から契約することで、年末年始を跨ぐ掲載になる可能性は極めて高い。年末年始も全ての企業が稼働しているわけではないので、企業が年末年始の休みに突入している場合に求人への応募がきても迅速に対応ができない。また求職者の動向としても年末年始を跨ぐ忙しい時期に求人広告に目を通す求職者は比較的少ないと言える。



そこで各求人広告会社から新たな年末年始の特別なキャンペーンが登場した。年末年始を跨ぐ掲載に無料で一週間の掲載期間延長をつけるという画期的なキャンペーンである。求人掲載は決して安く購入できる商品ではない為、この一週間の掲載期間延長は肝になるだろう。本来の掲載期間が終了してから一週間の期間延長となるので、年明けモードから一気に仕事モードになったところを狙い撃ちできるのがこのキャンペーンの魅力の部分。

このキャンペーンが適用される掲載開始日などは各媒体によって変わるため、複数媒体を取り扱っている日本アドカスタムまでお問い合わせいただければ、全ての媒体の情報をお伝えいたしますので、ぜひともご利用ください。

求人掲載を行った後に重要となるのは、応募者に対する対応力。多くの企業が面接に力を入れていくが、実際に重要と言えるのは面接までのプロセス。応募の電話で企業のイメージが応募者に伝わるのだ。電話対応は顔が見えないだけに、対応

M 面接
C キャッチ
P プラン とは？

固定残業代表記の義務化

12月1日から固定残業代表記の義務化が始まるのはご存知だろうか。固定残業代とは、一定時間分の手当があれば「見込み残業」や「低額残業代」、「みなし残業代」と呼ばれているものと同じである。ひと昔前の求人には、こういった固定残業代に関する表記が義務化されていなかったこともあり、それにより求職者が求人内容との相違を感じていたのも事実である。

が少し雑になつてしまふ時や、電話対応が苦手な人が対応し、応募者に不安を与えてしまう事もある。それによって、予定していた面接に出来ない事態が増加している。

日本アドカスタムでは対応のプロが応募電話を代行し、丁寧に面接までを繋げるサービスをを行っている。面接までも代行を行っているため、しっかりと人材を見極めた上で企業へ伝える事が可能となり、面接数の増加から質の良い採用が実現する。

年末年始に向け、今一度面接キャッチプランの導入を検討してみたいかがでしょうか。

こういった事態が起これないよう、株式会社インテリジェンスでは、固定残業代表記がされていない、または掲載内容と実際の内容が違う場合に表記違反として即時掲載停止の処置を行うと発表した。現在、求人広告に関する多くのメディアが注目をしており、その品質を問われている。現にハローワークでは固定残業代表記のない案件は受理をしない、またそういった案件と出くわした際にどのような対応をするべきかの指導も随時行われており、今後の求人広告業界はより求職者の立場を考えなければならぬのである。

残業に関してはつきりとした手当を設定してない企業も多く存在する中、今後の求人掲載を検討している方はしっかりと労働基準法に従った上で企業の固定残業代を決める必要があるだろう。

サービス系A社

	導入前	MCP 導入後
掲載媒体2社	応募数 21名	
掲載期間2週間	面接数 7名	12名
募集人数5名	面接率 33%	57%

面接数+5名
171%UP